

備中成羽藩を成した山崎豊治が眠る地
山崎家墓所



指定区分	県指定史跡
読みかた	やまさきけぼしよ
所在地	高梁市成羽町下原(桂巖寺)
指定年月日	平成11年3月16日
解説	備中成羽藩は因幡国若桜から山崎家治が入封し成立した。その後、家治は肥後国天草に移ったが、次男で分家の豊治が5千石の旗本として故地に戻り、明治維新までこの地を領した。豊治が菩提寺として建立したのが桂巖寺である。境内には、豊治以降の歴代領主の墓石や供養塔が整然と並んでおり、旗本家墓所の形態を示している。
アクセス方法	JR備中高梁駅から約7.5km
公開状況	
設備	
備考	「崎」の字の「大」は「立」が正

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	山崎家墓所
よみかた	やまさきけぼしよ
しよざいち (所在地)	高梁市成羽町下原(桂巖寺)
していしたひ (指定した日)	平成11年3月16日
せつめい	山崎家(やまざきけ)は、江戸時代(えどじだい)のおわりごろ、備中国(びっちゅうこく)に成羽藩(なりわはん)をたちあげた一族(いちぞく)です。その山崎家が建(た)てたお寺(てら)の中に、山崎家一族のお墓(はか)が並(なら)んでいます。